

山形県サッカー協会 公式記録

第88回全国高校サッカー選手権大会山形県大会

主審サイン 安食弘幸 記録員 今野誉康

日時	2009年 10月 24日 13:05	KICK OFF	試合形式	80分 延長20分 PK	会場名	NDソフトスタジアム山形	
天候	曇り	風	無風	ピッチ状態	芝 良	表面 良	
主審	安食弘幸	副審	梅津智彰	副審	佐藤 淳	第4審判	小川靖宏
						観衆数	1000人

(チーム名)			3			4			(チーム名)		
羽黒			3	前半	2	山形中央			PK方式		
			0	後半	1						
			0	延長前半	0						
			0	延長後半	1						
<input type="checkbox"/> KICK OFF <input type="checkbox"/> 延長KICK OFF						<input checked="" type="checkbox"/> KICK OFF <input checked="" type="checkbox"/> 延長KICK OFF					

交代		シュート					得点	選手名					得点	シュート					交代	
No.	OUT時間	延後	延前	後半	前半	計		No.	位置	位置	No.	選手名		計	前半	後半	延前	延後	OUT時間	No.
						0	牧野友彦	1	GK	GK	1	鈴木貴之	0							
10	85					0	早坂隼人	2	DF	DF	2	安原亮次	0							
						0	岩本宗一郎	5	DF	DF	3	菅野徹	1	1						
						0	佐藤大弥	18	DF	DF	4	嵐田飛夢	0							
						0	本間貴士	19	DF	DF	6	加藤千晶	0							
						0	安野就斗	6	MF	MF	7	松本峻輔	2	1	1			75	18	
25	58				2	2	鈴木雅大	7	MF	MF	8	武田勝秀	2	1	1					
					1	1	土門拓矢	23	MF	MF	11	渡部真一郎	2	2	2			93	16	
		1			2	3	エクトルムニス	3	FW	MF	12	前野総志	1	6	4	2		66	10	
20	67				3	2	片平 仁	9	FW	FW	5	宍戸隆典	1		1					
			1		1	3	ソウザパウロ	11	FW	FW	9	相川優介	5	1	3	1				
				1	1	2	菊池憲永	25	FW	FW	10	山田和樹	1	4		2	1	1		
					1	1	中山結生	20	MF	MF	18	真坂卓志	0							
					0	0	石山貴大	10	MF	FW	16	稲毛大樹	0							

警告・退場										警告・退場									
時間	警・退	No.	氏名	内容	延後	延前	後半	前半	チーム合計	前半	後半	延前	延後	時間	警・退	No.	氏名	内容	
32	警	2	早坂隼人	反スポ	1	2	6	8	17	シュート	23	10	10	98	警	18	真坂卓志	遅	
					2	2	4	4	12	GK	7	1	5						
					2	0	3	1	6	CK	4	2	1						
					3	1	6	3	13	直接FK	10	6	3						
					1	0	1	0	2	間接FK	5	2	2						
					1	0	2	2	5	(オフサイド)	1	0	0						
					0	0	0	0	0	PK	0	0	0						

得点時間	得点チーム	No.	得点者	スコア	得点経過	記載例	～:ドリブル	→:ゴロパス	↑:浮き球パス	×:混戦	S:シュート	H:ヘディング
1	羽黒	3	エクトル・スミス	1-0	7~	x	3S					
2	山形中央	11	渡部真一郎	1-1	7→	11S						
5	羽黒	7	鈴木雅大	2-1	7S							
22	山形中央	11	渡部真一郎	2-2	3↑	11S						
28	羽黒	9	片平 仁	3-2	7↑	9H						
54	山形中央	12	前野総志	3-3	11~	11↑	12H					
90	山形中央	10	山田和樹	3-4	4→	10S						

PK戦(チーム名)	○×	No.	1	No.	2	No.	3	No.	4	No.	5	No.	6	No.	7	No.	8	No.	9	No.	10	No.	11	No.	12	No.	13	No.	14
	先																												
	後																												

【戦評】 記者 [勤務先] 井上 大介 [長井高校]

羽黒は4-3-3、山形中央は4-4-2の布陣でスタート。羽黒は4枚のDFラインを敷き、23・⑥をダブルボランチ気味に配し、MFとFWの間のスペースの⑦。FWの3人は流動的にポジションを変え絞らせない。FKを含めキックとプレーの精度の高い⑦にボールを集めゲームをコントロールした。一方の山形中央は、DF③が羽黒③をマンマークし、残りの3枚でバランスをとる。⑦⑧のボランチが中盤を押さえ⑩⑫は積極的に前線に飛び出しチャンスを演出。FW2枚の身体能力の高さを利用しロングボールで早め早めにボールを集めた。1つ目のボールがつぶれてもセカンドボールを拾って2次攻撃を仕掛けていく狙いも見られた。それに対し、羽黒は、裏を警戒したのか積極的なDFができず、簡単に起点を作らせてしまい、DFとMFの間があき、1vs1の場面が目立ち、挟み込むようなDFの数的優位を作ることができず後手に回るシーンが見られた。山形中央は、もう一度リスタートやクロスからのDFの確認をし全国大会の舞台へ臨んでほしい。